

# 平成30年度第3回「まちかどコメンテーター」アンケート調査結果

## まちかどコメンテーターの概要

### （1）まちかどコメンテーターとは

市民の皆様「まちかどコメンテーター」になってもらい、その方々から市民目線の意見・提言を聴取するとともに、市民のニーズを把握し、市政運営の参考とさせていただくものです。  
また、アンケートを通じて、市民の皆様市政への関心・興味を深めることも目的としています。

### （2）まちかどコメンテーターの選定方法

住民基本台帳から無作為抽出した市民2,500人にまちかどコメンテーターへの就任を依頼し承諾いただいた方と、一般公募に応募していただいた方から構成されています。

### （3）任期

平成29年7月1日～平成31年6月30日

### （4）人数

197人（男性92人、女性105人）

### （5）所管課

市民局 市民文化部 市民協働課

## 今回のアンケートの概要

テーマ (担当課)	生物多様性について	(環境局 環境保全課)
	本市における高齢者の生きがい対策について	(健康福祉局 長寿支援課)
調査期間	平成30年12月6日～平成31年1月8日	
送付数	197人	
回答率	64.8% (127人)	

(注) 構成比は小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

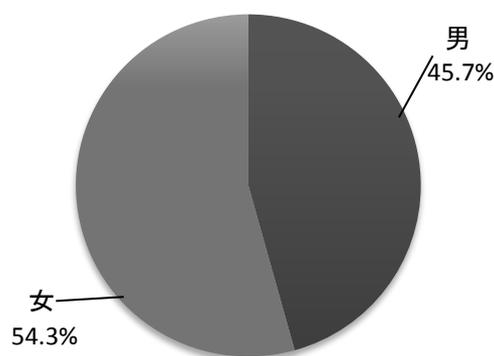
(注) 複数回答可の質問の構成比の合計は100%を超えることがあります。

(注) 自由記入の回答は、主な意見のみを記載しています。全文は市ホームページで公開しています。

## 回答者の構成

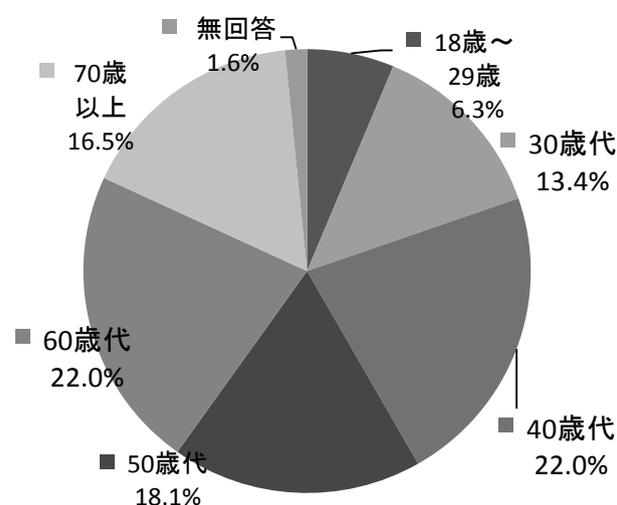
問1. 性別を選択してください。

選択肢	回答数	構成比
男	58	45.7%
女	69	54.3%
無回答	0	0.0%
合計	127	100.0%



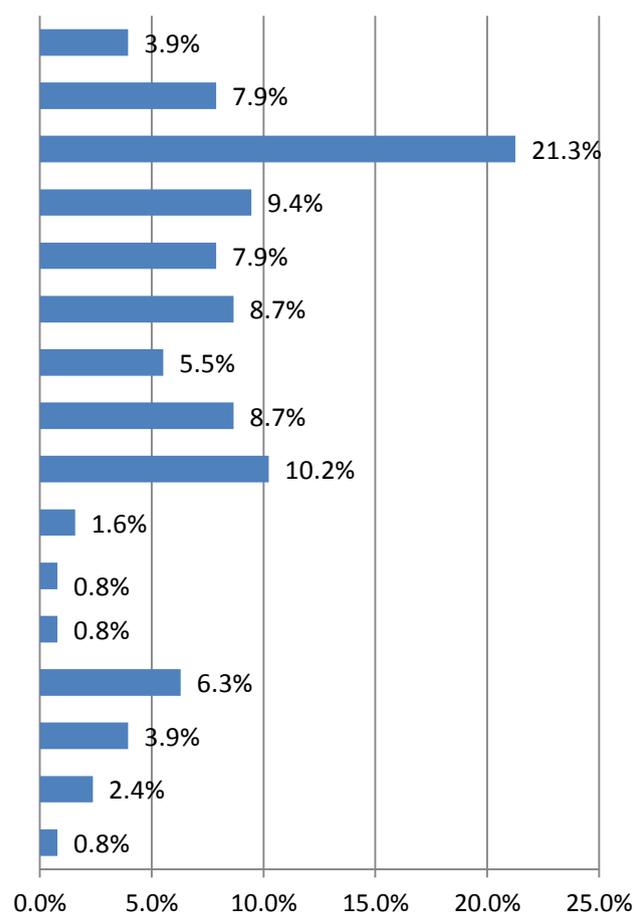
問2. 年代を選択してください。

選択肢	回答数	構成比
18歳～29歳	8	6.3%
30歳代	17	13.4%
40歳代	28	22.0%
50歳代	23	18.1%
60歳代	28	22.0%
70歳以上	21	16.5%
無回答	2	1.6%
合計	127	100.0%



問3. 町名を記入してください。※ご記入いただいた町名を元に集計しています。

地域	回答数	構成比
中央地区	5	3.9%
上町地区	10	7.9%
鴨池地区	27	21.3%
城西地区	12	9.4%
武・田上地区	10	7.9%
谷山北部地区	11	8.7%
谷山地区	7	5.5%
伊敷地域	11	8.7%
吉野地域	13	10.2%
桜島地域	2	1.6%
東桜島地域	1	0.8%
吉田地域	1	0.8%
喜入地域	8	6.3%
松元地域	5	3.9%
郡山地域	3	2.4%
不明	1	0.8%
合計	127	100.0%



## 1. 生物多様性について

### 【アンケートの目的】

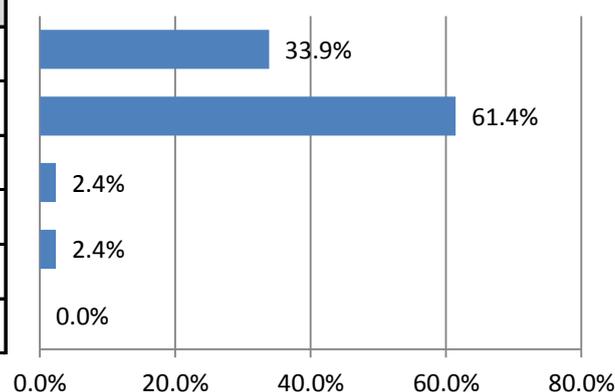
山、川、海などの様々な自然のなかで、様々な生き物がつながりあって、個性豊かに生命を育んでいる状態を「生物多様性」と言います。私たちも、木陰で安らいだり、自然の恵みを食べ物や薬などとして利用したりして、生き物のつながりのなかで暮らしています。

本市では、この「生物多様性」の保全に取り組んでいますが、市民の皆さんの自然や生き物への関心度や生物多様性の言葉の認知度などを把握し、今後の事業推進の参考とするために、アンケートを実施しました。

### 【調査結果】

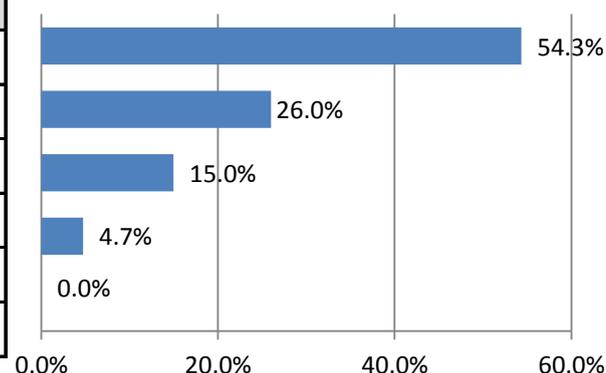
問4：山、川、海などの自然に関心がありますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
非常に関心がある	43	33.9%
ある程度関心がある	78	61.4%
あまり関心がない	3	2.4%
まったく関心がない	3	2.4%
無回答	0	0.0%
合計	127	100.0%



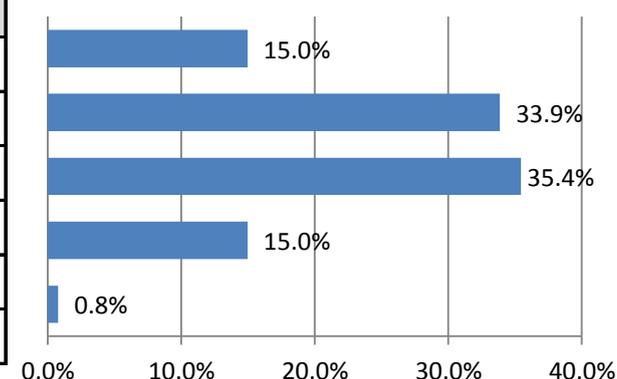
問5：植物や動物などの生き物に関心がありますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
非常に関心がある	69	54.3%
植物に関心はあるが、動物には興味はない	33	26.0%
動物に関心はあるが、植物には興味はない	19	15.0%
まったく関心がない	6	4.7%
無回答	0	0.0%
合計	127	100.0%



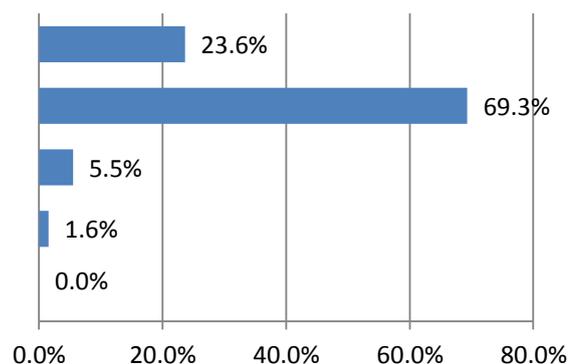
問6：「生物多様性」という言葉を知っていますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
言葉の意味を知っている	19	15.0%
言葉の意味をある程度知っている	43	33.9%
意味は知らないが、言葉は聞いたことがある	45	35.4%
知らない（聞いたこともない）	19	15.0%
無回答	1	0.8%
合計	127	100.0%



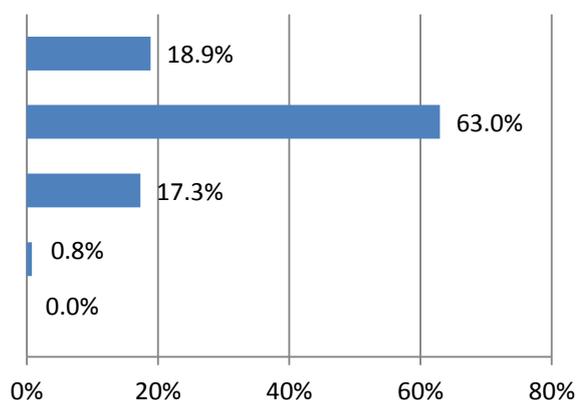
問7：人間の活動によって、外国や他の地域から持ち込まれた生き物が、森や川などに逃げだしたり捨てられたりして野生化した動物や植物を「外来生物」といいます。外来生物のなかには、もともとそこに棲んでいた生き物に影響を与えたり、畑の農作物を荒らしたり、人へ危害を加えたりするものが出て、近年問題となっています。このような外来生物問題を知っていますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
よく知っている	30	23.6%
ある程度知っている	88	69.3%
内容は知らないが、言葉は聞いたことがある	7	5.5%
知らない（聞いたこともない）	2	1.6%
無回答	0	0.0%
合計	127	100.0%



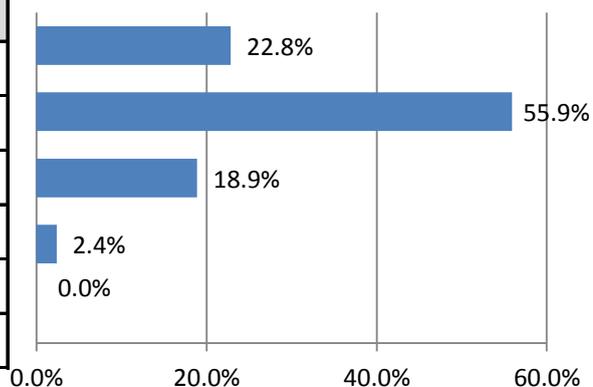
問8：自然の減少などによって棲む場所がなくなったり、観賞用などとしてたくさん採取されたり、外来生物に食べられたりするなどして、絶滅の危機にある生き物が増えています。このような絶滅のおそれのある生き物（希少種）に関する問題を知っていますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
よく知っている	24	18.9%
ある程度知っている	80	63.0%
内容は知らないが、言葉は聞いたことがある	22	17.3%
知らない（聞いたこともない）	1	0.8%
無回答	0	0.0%
合計	127	100.0%



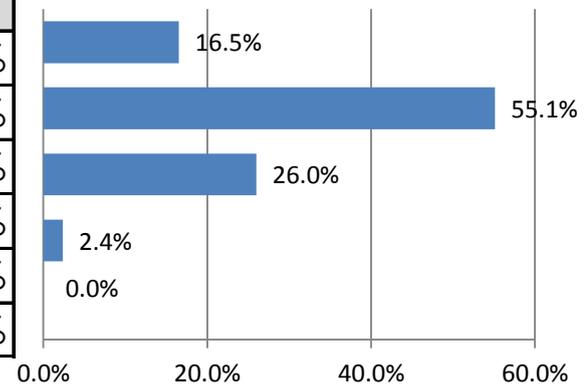
問9：本市は「緑や水辺等の自然とのふれあいの場や機会がたくさんある」と感じますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
感じる	29	22.8%
どちらかといえば感じる	71	55.9%
どちらかといえば感じない	24	18.9%
感じない	3	2.4%
無回答	0	0.0%
合計	127	100.0%



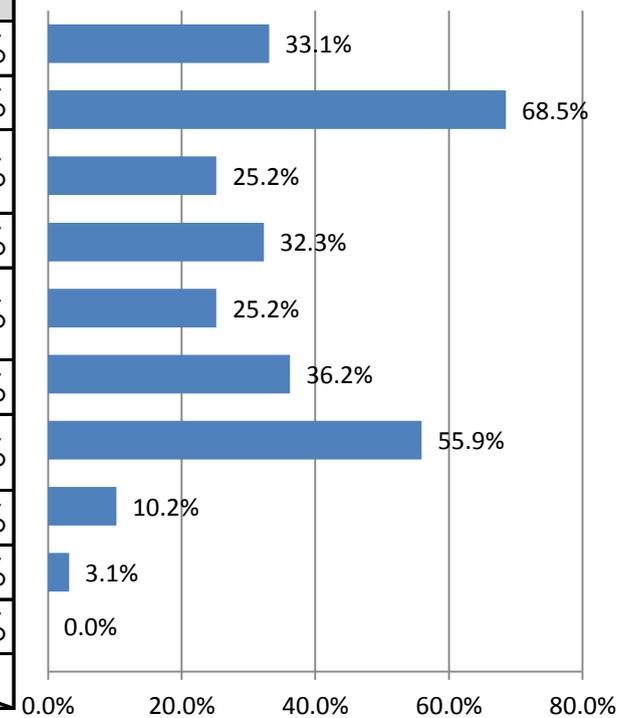
問10：本市は「多くの生き物が暮らし、豊かな自然が残るまちである」と感じますか。  
（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
感じる	21	16.5%
どちらかといえば感じる	70	55.1%
どちらかといえば感じない	33	26.0%
感じない	3	2.4%
無回答	0	0.0%
合計	127	100.0%



問11：日々の暮らしのなかで、自然や生き物と向き合っていますか。（あてはまるものすべて）

選択肢	回答数	構成比
動物を飼っている	42	33.1%
植物を育てている	87	68.5%
動物園や水族館などを訪ね、生き物に ふれあっている	32	25.2%
森や川沿いをウォーキングしている	41	32.3%
休日には森林浴（公園の樹林を含む） など自然のなかによく出かける	32	25.2%
節句、十五夜などの季節行事を行っている	46	36.2%
七草がゆ、恵方巻き、月見だんごなど の行事食をとり入れている	71	55.9%
特にない	13	10.2%
その他	4	3.1%
無回答	0	0.0%
合計	368	

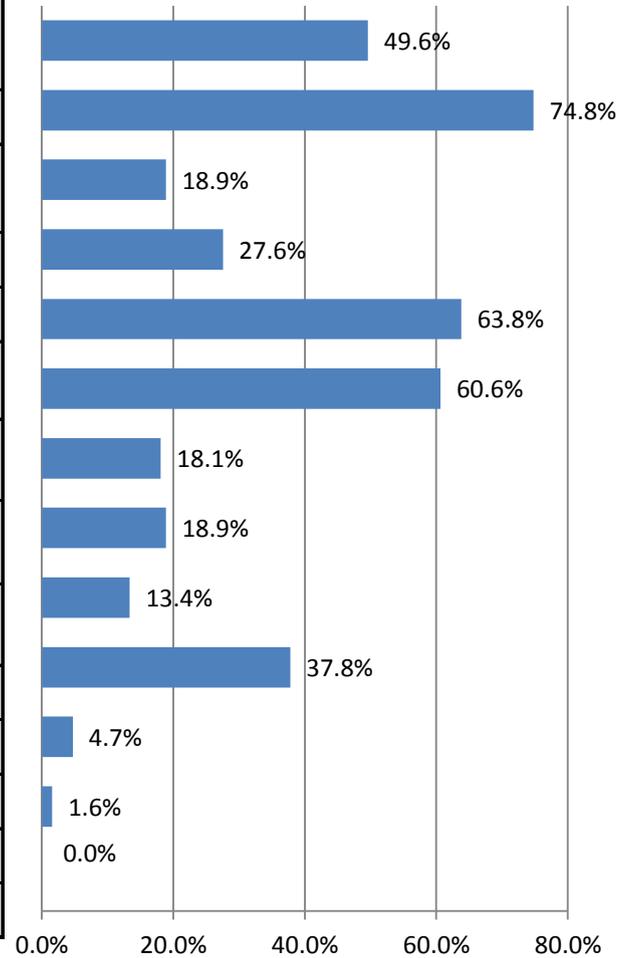


問11：その他の主な意見

- 金魚やメダカを飼っています
- TVで放映される園芸番組とかNHKの「ダーウィンが来た」等は興味を持っている
- 釣りによくいきます。

問12：日々の暮らしのなかで、気にかけていること、取り組んでいることがありますか。  
(あてはまるものすべて)

選択肢	回答数	構成比
生き物を最後まで責任を持って育て、 野外に放さないこと	63	49.6%
自然を汚さないようにすること	95	74.8%
自然保護活動や清掃美化活動に参加 すること	24	18.9%
環境に配慮した商品を優先的に購入すること	35	27.6%
旬のもの、地のものを選んで購入すること	81	63.8%
節電や適切な冷暖房温度の設定など地球温 暖化対策に取り組むこと	77	60.6%
農業体験、自然体験、生き物観察会に参加 すること	23	18.1%
自然の素晴らしさを写真、絵、文章な どで家族や友人などに伝えること	24	18.9%
庭に小鳥や昆虫などの生き物が好む空間を 増やすこと	17	13.4%
生き物や環境に気を配ること	48	37.8%
特になし	6	4.7%
その他	2	1.6%
無回答	0	0.0%
合計	495	

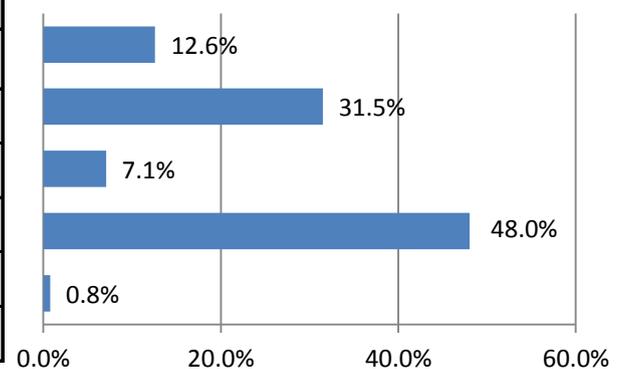


問12：その他の主な意見

- ・ごみの分別をしっかりとるように心がけています。
- ・化学薬品の少ない天然の物を使うようにしている。

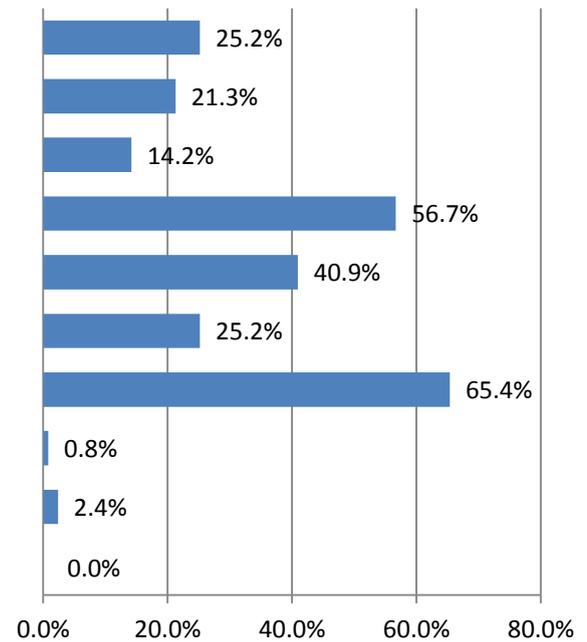
問13：本市では、市民の皆さんに自然とふれあっていただきたいと考え、自然遊歩道を8箇所  
指定しているほか、平成27年2月には「かごしま自然百選」を選定しました。  
このことについて知っていますか。(ひとつだけ)

選択肢	回答数	構成比
自然遊歩道、「かごしま自然百選」の2つとも知っている	16	12.6%
自然遊歩道については知っている	40	31.5%
「かごしま自然百選」については知っている	9	7.1%
どちらとも知らない	61	48.0%
無回答	1	0.8%
合計	127	100.0%



問14：自然遊歩道や「かごしま自然百選」に選定された自然にどのような状況なら訪れたいと思いますか。（あてはまるものすべて）

選択肢	回答数	構成比
案内人（ガイド）が同行して説明する	32	25.2%
生き物観察会が開催される	27	21.3%
アウトドアスポーツが開催される	18	14.2%
イベント等がなくてもよい（自分の都合のよい時に訪れ、散策する）	72	56.7%
現地に樹木や草花の名前などを紹介した説明板がある	52	40.9%
現地まで公共交通機関が利用できる	32	25.2%
駐車場がある	83	65.4%
どのような状況でも訪れたいと思わない	1	0.8%
その他	3	2.4%
無回答	0	0.0%
合計	320	

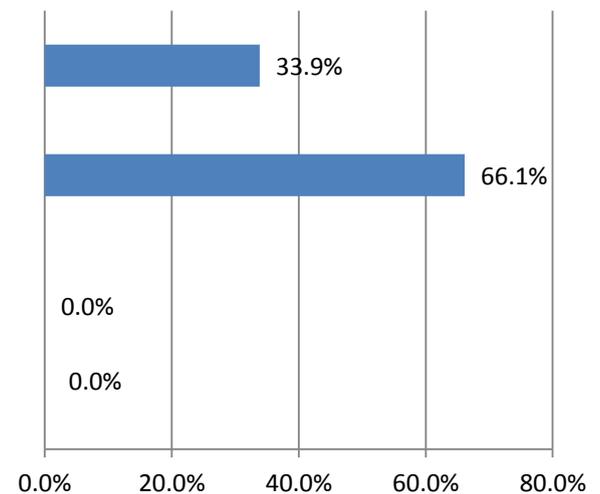


問14：その他主な意見

- ・子どもが興味あれば
- ・季節の花が咲いている
- ・近所にある

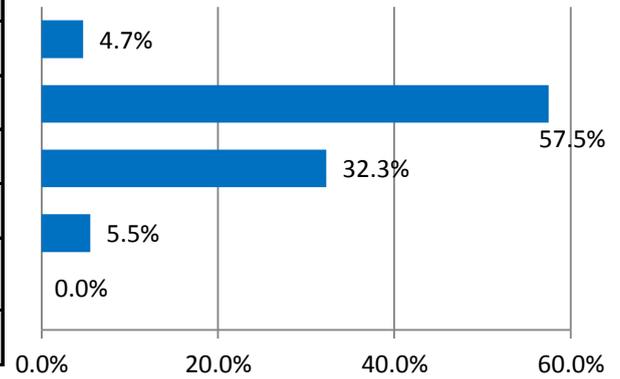
問15：現在、生物多様性を保全するための取組が進められていますが、このことについてどのように考えますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
人間の生活がある程度制約されても、多種多様な生き物が生息できる環境の保全を優先する	43	33.9%
人間の生活が制約されない程度に、多種多様な生き物が生息できる環境の保全を進める	84	66.1%
人間の生活の豊かさや便利さを確保するためには、多種多様な生き物が生息できる環境が失われてもやむを得ない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	127	100.0%



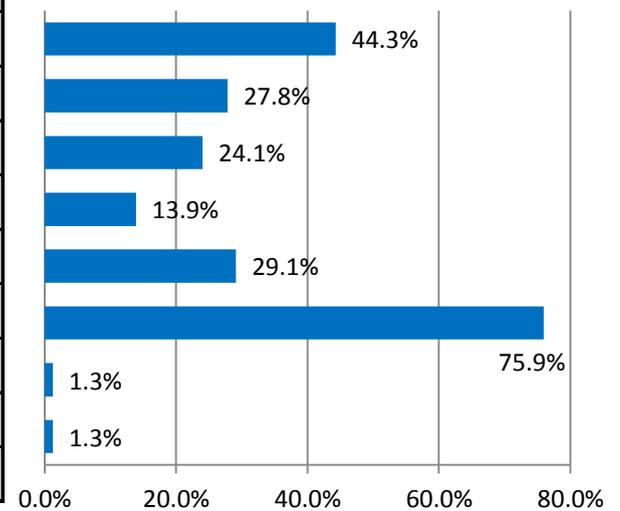
問16：生物多様性の保全は、行政、地域の人々、市民活動団体（NPO）などが連携して取り組んでいくことが求められています。生物多様性を保全するための活動に参加したいと思いませんか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
ぜひ参加したい	6	4.7%
内容によっては参加したい	73	57.5%
あまり参加したくない	41	32.3%
参加したくない	7	5.5%
無回答	0	0.0%
合計	127	100.0%



問17：問16で「ぜひ参加したい」、「内容によっては参加したい」と答えた方に質問です。どのような活動なら参加しますか。（あてはまるものすべて）

選択肢	回答数	構成比
海岸や河川敷などの清掃美化活動	35	44.3%
植樹、下草刈りなどの森林保全活動	22	27.8%
土手や道路沿いの植物（外来生物）の除去	19	24.1%
外来生物（ブラックバスなど）の駆除	11	13.9%
動物、植物の生息・生育調査	23	29.1%
自然や生き物に関連したイベント・行事	60	75.9%
その他	1	1.3%
無回答	1	1.3%
合計	172	

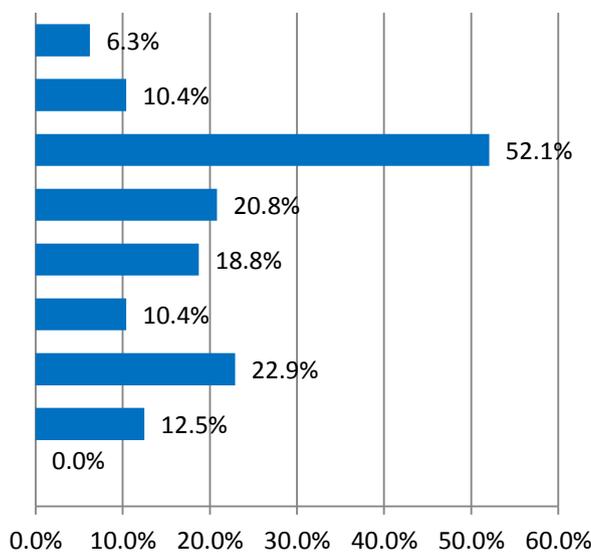


問17：その他の主な意見

- ・1～4は参加したいが、膝障害で不可です。

問18：問16で「あまり参加したくない」、「参加したくない」と答えた方に質問です。  
参加したくないのはなぜですか。（あてはまるものすべて）

選択肢	回答数	構成比
興味がない	3	6.3%
めんどくさい	5	10.4%
忙しくて時間が取れない	25	52.1%
機会がない	10	20.8%
一緒に活動する仲間がない	9	18.8%
ほかにやりたいことがある	5	10.4%
健康上の理由	11	22.9%
その他	6	12.5%
無回答	0	0.0%
合計	74	

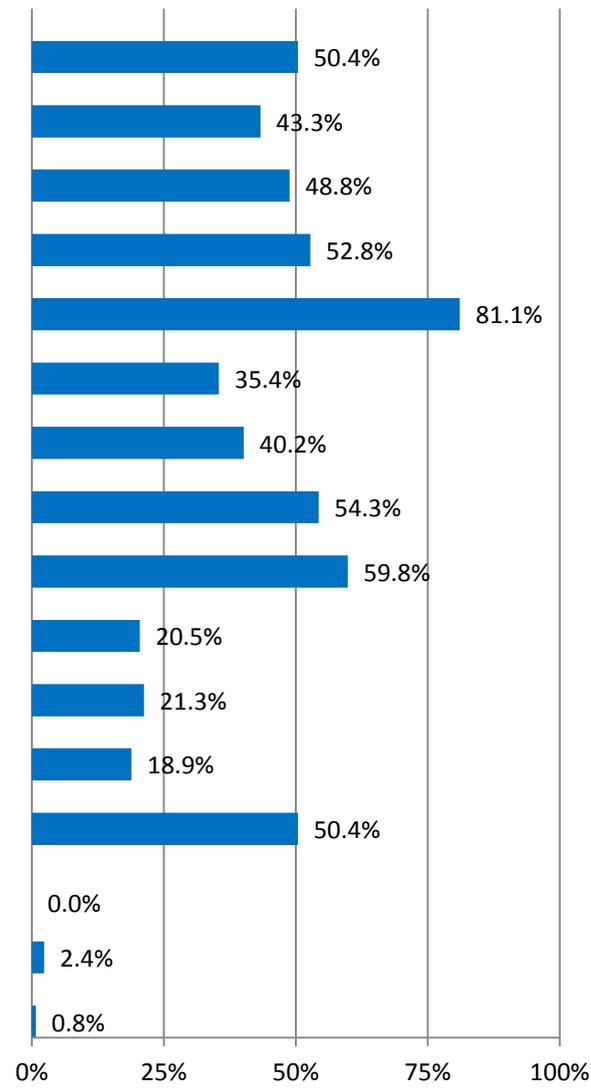


問18：その他の主な意見

- NPOには不信感があります

問19：生物多様性を感じ、理解し、保全していくため、あなたはこれからどのようなことを行いたいと思いますか。（あてはまるものすべて）

選択肢	回答数	構成比
自然の中に出かけ、動物園など訪ね、自然や生き物にふれあうこと	64	50.4%
節句、十五夜などの季節行事を行うこと	55	43.3%
七草がゆ、恵方巻き、月見だんごなどの行事食をとり入れること	62	48.8%
生き物を最後まで責任を持って育て、野外に放さないこと	67	52.8%
自然を汚さないようにすること	103	81.1%
自然保護活動や清掃美化活動に参加すること	45	35.4%
環境に配慮した商品を優先的に購入すること	51	40.2%
旬のもの、地のものを選んで購入すること	69	54.3%
節電や適切な冷暖房温度の設定など地球温暖化対策に取り組むこと	76	59.8%
農業体験、自然体験、生き物観察会に参加すること	26	20.5%
自然の素晴らしさを写真、絵、文章などで家族や友人などに伝えること	27	21.3%
庭に小鳥や昆虫などの生き物が好む空間を増やすこと	24	18.9%
生き物や環境に気を配ること	64	50.4%
特に行う予定はない	0	0.0%
その他	3	2.4%
無回答	1	0.8%
合計	737	



問19：その他の主な意見

- ボタンクサギ、ブッドレア等の蝶など好む植物を増やす。

問20：生物多様性（自然、生き物）について、どのようなことでも構いませんので、自由にご記入ください。

- 外来生物はブラックバスしか知りませんでした。人に危害を加える物は知っておきたいです。
- 子どもたちが無料で自然、生き物と触れ合う機会を増やしてほしい。
- 家庭菜園で野菜等を育てているが、近年受粉をしてくれる蜂たちがずいぶん少なくなっている。農薬等も原因となっていることから、より植物たちや虫たちなど、環境にもやさしい植物由来等の薬で対応しているが、収量が減ることも生じている。安心安全と共生の為、自然、人に優しい農業に取り組んでいる。地域全体での取り組みが行われるとより良いのでは、と思う。
- 何故「生物多様性」が重要で必要なことなのか？難しいことかもしれませんが、わかりやすく小学生のころから授業で教えるべきであり、その子供達を教える先生のレベルアップも図ることが基本的に大事だと思います。
- 西郷どんをみて、鹿児島にもこんな素晴らしい自然があるのだと再認識しました。
- ホタルなど人気の生物は、下手に知名度を上げると問題のほうが多く怒ってしまう場合があります。自然環境全体を保護する視点が大切です。
- 鹿児島県としてみれば、南北600km、離島を多く抱えているということからイメージが湧くが、鹿児島市と生物多様性はあまり意識していなかったため、今回のアンケートは自分の意識づけになった。

#### テーマ担当課（環境保全課）からのコメント

生物多様性について、市民のみなさまの認知度や考えを伺う目的で実施したところ、多くのご回答やご意見をいただきまして、誠にありがとうございます。

生物多様性という言葉について、「知っている」、「言葉の意味はある程度知っている」、「言葉の意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」と回答された方の合計は84.3%で、前回のアンケート（平成27年度第2回）の79.5%から4.8ポイント上昇し、生物多様性の認知度が高まっていることが分かりました。

かごしま自然百選については、「知っている」と回答された方が19.7%で、前回のアンケートの13.8%から5.9ポイント上昇しましたが、認知度はまだまだ低いことが分かりました。

これらのことから、かごしま自然百選の広報を含め、生物多様性の理解の増進に取り組んでまいりたいと考えております。

## 2. 本市における高齢者の生きがい対策について

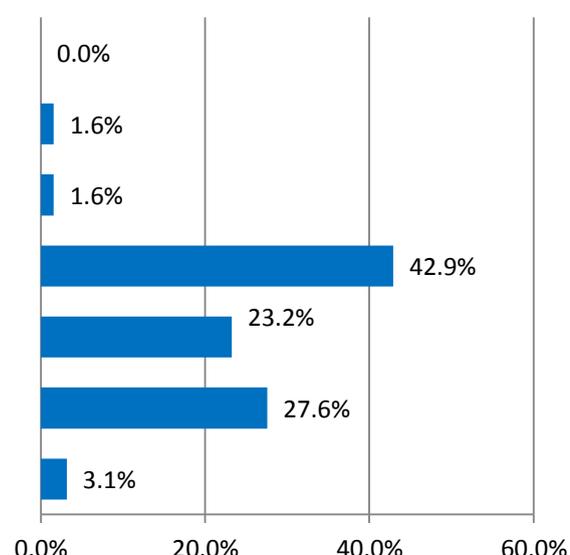
団塊の世代が高齢期を迎えるなど、人口の高齢化が急速に進む中、本市においても高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の割合）は25%を超えており、今後、高齢化はさらに進行していく見込みです。

そのような中、平均寿命の延伸により長くなった高齢期を生きがいを持って生活することは、健康保持していくためにも重要であり、本市では、高齢者の方に生きがいを持って健やかに暮らしていただくため、敬老パスの交付や高齢者福祉センターの運営など、各種生きがい対策事業を実施していますが、これらの取組みについて、今回、高齢者の方や高齢者を支える現役世代の方々の認知度、考えなどを把握し、今後の事業のあり方の参考とするため、アンケートを実施しました。

### 【高齢者福祉センターの利用方法等について】

問21：高齢者福祉センターを知っていますか。また、利用したことや行事に参加したことはありますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
現在、利用しており、知っている	0	0.0%
過去、利用したことがあり、知っている	2	1.6%
対象者（高齢者）ではないが、行事等に参加したことがあり、知っている	2	1.6%
知っているが、利用したことはない（行事等に参加したことはない）	54.5	42.9%
聞いたことはあるが、利用したことはない（行事等に参加したことはない）	29.5	23.2%
今回初めて知った	35	27.6%
無回答	4	3.1%
合計	127	100.0%

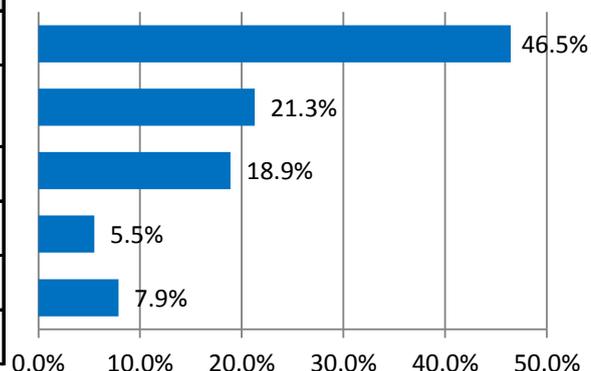


問22：問21で、「現在、利用しており、知っている」「過去、利用したことがあり、知っている」「対象者（高齢者）ではないが、行事等に参加したことがあり、知っている」を選択した方にお聞きします。この施設を利用（参加）した際の感想を自由にご記入ください。

- ・私は利用したことはありませんが、家内(70歳)の意見です。以前からの利用者がグループになっていてそのまま継続していくのがはばかられた。一人で行くと疎外感？みたいなものがある。
- ・65歳の誕生日が来るのが待ち遠しいくらいです。中に入れてみてきれいで皆さんが楽しそうに利用されていて65歳になったら利用したいと思っています。
- ・丁寧に説明してくれて助かった。

問23：「高齢者福祉センター」という名称について、どのような印象をお持ちですか  
(ひとつだけ)

選択肢	回答数	構成比
このままの名称でよい	59	46.5%
どのような施設がよくわからないので、名称を変更したほうがよい	27	21.3%
今回、初めて知ったので、よくわからない	24	18.9%
その他	7	5.5%
無回答	10	7.9%
合計	127	100.0%



問23：その他の意見

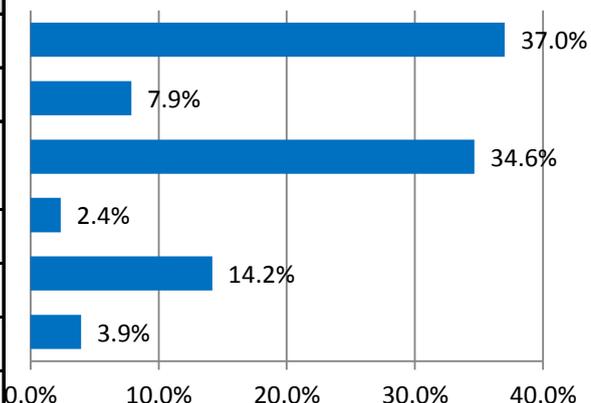
- ・高齢者という言葉が漠然としている
- ・高齢者に特定せずに市民福祉センターでよい。
- ・そのままの名称でわかりやすいが、「高齢者」は自分なら嫌だと思う。

問24：問23で「このままの名称でよい」または「どのような施設がよくわからないので、名称を変更したほうがよい」を選択した方にお聞きします。その理由をご記入ください。

- ・デイサービスのような施設かと思いました。
- ・既に多くの人に浸透していると思うので
- ・使用できるのは高齢者であることの明記が必要。

問25：高齢者福祉センターには、浴室（1人1回100円）及び、水着浴室、トレーニング室、図書室など無料で利用できる施設があり、高齢者の生きがいづくり・健康づくりなどの機会になっています。一方、維持管理経費も必要であり、今後、老朽化等に伴う負担も増えることが予想されます。今後も高齢者のための施設として運営していくために、センターの使用料について、どのように思いますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
現在のままでよい	47	37.0%
浴室の使用料を値上げしたほうがよい	10	7.9%
浴室だけでなく、ほかの施設も有料にしたほうがよい	44	34.6%
全て無料にしたほうがよい	3	2.4%
その他	18	14.2%
無回答	5	3.9%
合計	127	100.0%

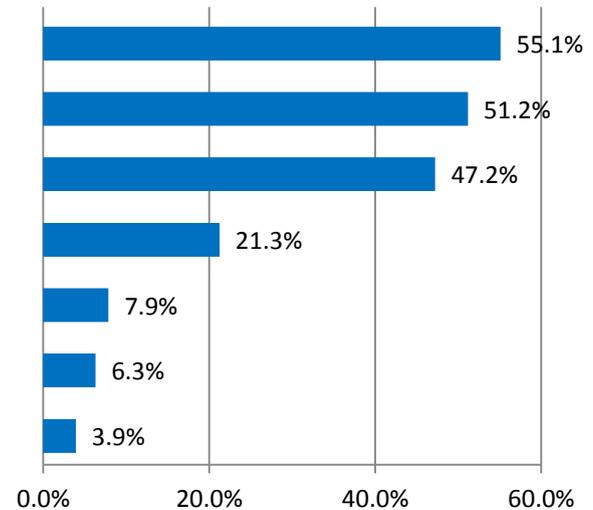


問25：その他の意見

- ・若い世代との交流スペースを一部、創設。
- ・施設の存在を広く周知することで、まずは利用増による増収から始めてほしい。
- ・高齢者だけでなく週1程度、幼稚園や保育所と一緒に活動もあるとよいのでは。

問26：今後、高齢者福祉センターを多くの高齢者の皆様に利用していただくために、どのような取組みが必要だと思いますか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
「市民のひろば」・「ホームページ」などを充実するなど、広報に力を入れる	70	55.1%
地域の方々が気軽に参加できるイベントを開催する	65	51.2%
魅力的な教養講座等を開催する	60	47.2%
施設内の設備、備品を、さらに充実させる	27	21.3%
現在の取組みで十分である	10	7.9%
その他	8	6.3%
無回答	5	3.9%
合計	245	



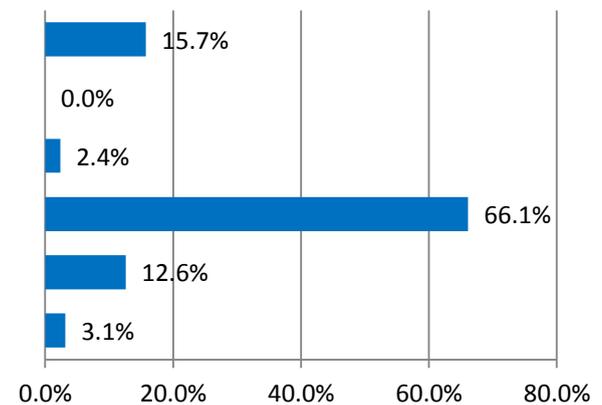
問26：その他の主な回答

- ・ニーズと広報
- ・送迎バス
- ・高齢者以外も使用できるようにした方が良いと思う。

【高齢者の生きがいづくりに係る取組みについて】

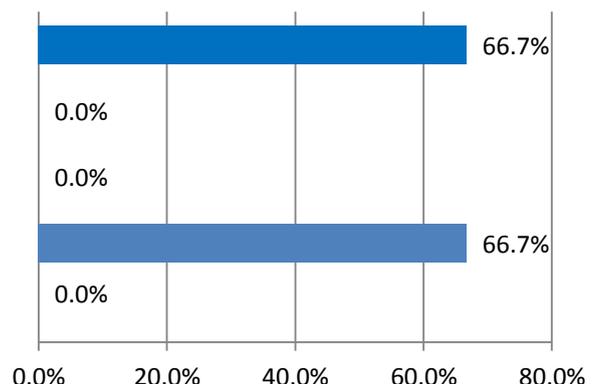
問27：本市では、高齢者の生きがいづくり、社会参加を促進するため、70歳以上の市民の方に、「敬老パス」を交付していますが、知っていますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
現在、利用しており、知っている	20	15.7%
過去、利用したことがあり、知っている	0	0.0%
対象者（70歳以上）であり知っているが、持っていない（申請していない）	3	2.4%
対象者（高齢者）ではないが、知っている	84	66.1%
今回初めて知った	16	12.6%
無回答	4	3.1%
合計	127	100.0%



問28：問27で「対象者（70歳以上）であり知っているが、持っていない（申請していない）」と答えた方にお聞きします。敬老パスをお持ちでないのはなぜですか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
車での外出が多いので、敬老パスはあまり必要としない	2	66.7%
外出することがあまりないので、敬老パスを使わない	0	0.0%
敬老パスの申請手続きがめんどろである	0	0.0%
その他	2	66.7%
無回答	0	0.0%
合計	4	

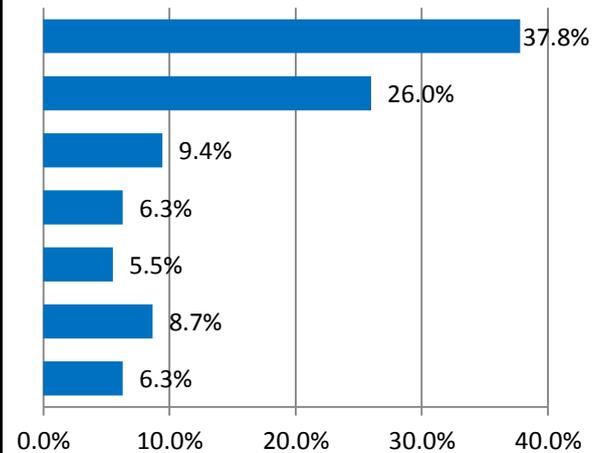


問28：その他の回答

- ・免許返納の時期から使いたい
- ・健康である。ホームセンター、民生委員活動や病院など近くへはチャリで行く。

問29：敬老パスは、利用者、交通事業者、市がそれぞれ、正規運賃の3分の1ずつ負担しています。今後、高齢者人口が増加し、敬老パス所持者の増加が見込まれる中、持続可能な制度とするために、どのように取り組んでいくべきと思いますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
現状のまま継続すべきである	48	37.8%
利用者の負担を増やした上で、継続すべきである	33	26.0%
市や交通事業者の負担を増やした上で、継続すべきである	12	9.4%
対象年齢を引き上げた上で、継続すべきである	8	6.3%
あまり必要のない制度であり、やめるべきである	7	5.5%
その他	11	8.7%
無回答	8	6.3%
合計	127	100.0%

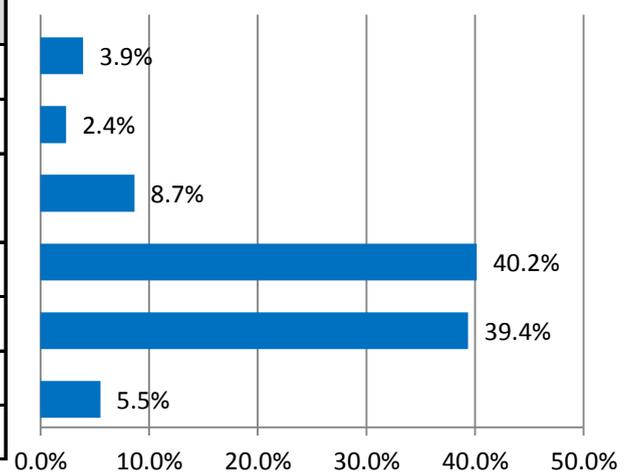


問29：その他の意見

- 高齢者の自動車運転との関連した事項であり、対象年齢の引き上げや負担額引き上げや負担額引き上げ等の対策も必要なら検討し、継続すべきと思います。
- 年齢別で負担を変えるべき

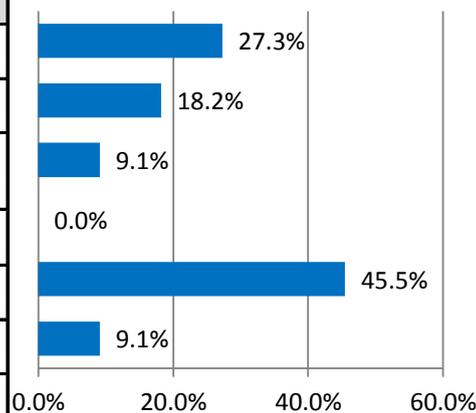
問30：本市では、健康で生きがいに満ちた生活を楽しんでいただくため、70歳以上の市民の方に、市内にある公衆浴場（温泉）を100円で、年間30回まで利用できる「すこやか入浴事業」を行っています。この事業を知っていますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
現在、利用しており、知っている	5	3.9%
過去、利用したことがあり、知っている	3	2.4%
対象者（70歳以上）であり知っているが、利用していない（申請していない）	11	8.7%
対象者（高齢者）ではないが、知っている	51	40.2%
今回初めて知った	50	39.4%
無回答	7	5.5%
合計	127	100.0%



問31：問30で「対象者（70歳以上）であり知っているが、利用していない（申請していない）」と答えた方にお聞きします。  
すこやか入浴事業を利用していないのはなぜですか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
近くに公衆浴場がない	3	27.3%
外出することがあまりないので、利用することがない	2	18.2%
敬老パスを持っておらず、申請手続きもめんどうである	1	9.1%
主に高齢者福祉センターの浴室を利用している	0	0.0%
その他	5	45.5%
無回答	1	9.1%
合計	12	

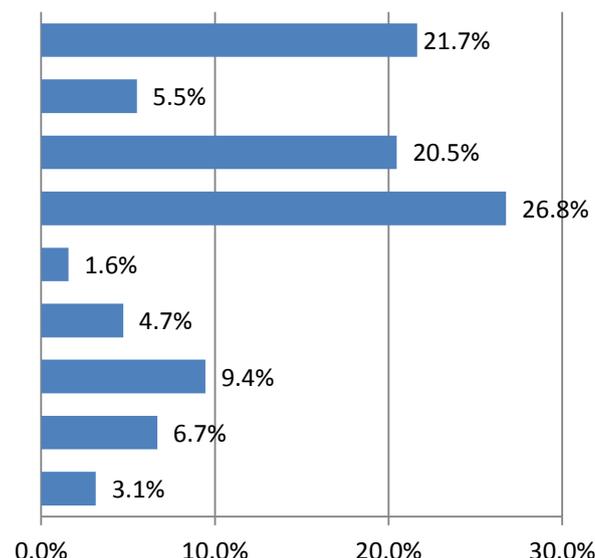


問31:その他の主な意見

- 近くにあるが、行こうと思わない
- 自宅の浴場で事足りている。

問32：「すこやか入浴事業」は、協定料金のうち利用者が100円、市が255円負担しています。今後、高齢者人口が増加し、利用者の増加が見込まれる中、持続可能な制度とするために、どのように取り組んでいくべきと思いますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
現状のまま継続すべきである	27.5	21.7%
年間の利用回数を増やした上で、継続すべきである	7	5.5%
年間の利用回数を減らした上で、継続すべきである	26	20.5%
利用者の負担額を増やした上で、継続すべきである	34	26.8%
利用者の負担額を減らした上で、継続すべきである	2	1.6%
対象年齢を引き上げた上で、継続すべきである	6	4.7%
あまり必要のない事業であり、やめるべきである	12	9.4%
その他	8.5	6.7%
無回答	4	3.1%
合計	127	100.0%

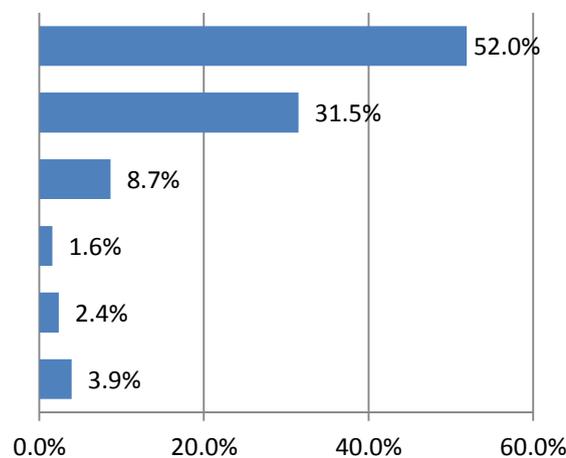


問32：その他の主な意見

- 30回以上利用時においては規定料金より低めに設定する。
- 介護施設に通っていないし、1人暮らしなので、回数を増やしてほしい。特に冬場は必要。料金は上げても¥150でもいい。施設に通っている方は入らないのかな
- 利用者の少ない時間帯に利用を制限する。

問33：高齢者に外出の機会を促し、生きがいに資するための取組みとして、敬老パスを市の公共施設等で提示すると、料金が無料又は半額等で施設を利用できますが、この取組みについてどのように思いますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
現状のまま継続すべきである	66	52.0%
現在の割引率を見直して、利用者の負担を増やすべきである	40	31.5%
あまり必要のない事業であり、やめるべきである	11	8.7%
全ての施設で無料にすべきである	2	1.6%
その他	3	2.4%
無回答	5	3.9%
合計	127	100.0%



問33：その他の意見

- ・対象年齢を引き上げて継続すべき
- ・裕豊かな人から低収入の人までいろいろいると思うので収入(年金額や資産)に応じて決めればいい

問34：高齢者の生きがいに係る取組みや費用負担のあり方について、どのようなことでも構いませんので、自由にご記入ください。

- ・少子高齢化が益々進む現状を考えれば高齢者にも応分の負担を求めるべきだし、それがかなわないのであれば高齢者の年齢を引き上げて税金の支出を抑えるべきだ。
- ・近い将来高齢者が30%になる時代を迎える。現在、有料化してもやむをえない。高齢者が外出の機会を促すためにも、高齢者福祉センターの活用が大事になると思う。もう少し、イベントや高齢者向けの講座を取り入れて、交流の場をお願いしたい。

テーマ担当課（長寿支援課）からのコメント

高齢者の生きがい対策について、市民の皆様の認知度や考えを伺う目的で実施したところ、多くのご回答やご意見をいただきまして、誠にありがとうございます。今回のアンケートにおいては、高齢者の方のみならず、高齢者以外の方の意向や考えを確認することができ、大変参考になったものと考えております。

本市の主な生きがい対策である、敬老パス制度や高齢者福祉センターの管理運営、すこやか入浴事業の認知度や今後の自己負担のあり方などについては、高齢者の生きがいづくり、健康づくりにとって、その重要性が一定理解されていることや今後も継続してもらいたいとの意見が多かったことが伺えました。また、将来の負担のあり方については、今後、事業対象者が増加することを踏まえ、見直しをしてはどうかとの意見も出されておりましたが、現状維持との声も多くみられたところであり、今後も持続可能な制度とするために、どのように事業に取り組むのかといった観点からも非常に参考にすることができたものと考えております。

また、高齢者福祉センターの認知度については、まだ高くないこともわかったところであり、機会あるごとに、周知広報に努めていきたいと考えております。今後、高齢化が急速に進行する中、平均寿命の延伸により長くなった高齢期を生きがいを持って健やかに暮らしていただくために、各種生きがい対策事業に取り組んでまいります。

## 市政全般について

問35：今回のテーマに限らず、鹿児島市政に対してご意見・ご提言があれば、自由にご記入ください。いただいたご意見・ご提言は速やかに所管部局に伝えて、市政運営の参考とさせていただきます。

- 新県立体育館、ドルフィンポート路地利用、磯地区新駅の課題は、鹿児島市民にとって密接するので、県との連携や討議を深めてほしい。
- 公共の乗物の市電について、高齢者の骨折等の事故が毎月発生している。乗車時の入り口ドアや乗客が確実着席しない状態で発車。運転手の安全確認が原因と思われる。安心して乗れる市電を目指して、早急に対策を講じて事故のない安心安全な市電に努めてほしい。
- 吉野町の渋滞の緩和をお願いしたい。
- 年末・年始、年度末の工事は控えてほしい。
- 信号機(道路)がLEDに変わってきているが、小さくなったからか、非常に見にくいと感じます。また、古い街並には景観的に似合わなくてもったいないと思います。鹿児島市らしい街並を残してほしいです。

※各質問ごとの「その他の意見」については、大変多くのご意見をいただいておりますことから、市ホームページに掲載しております。

☆☆ご協力ありがとうございました！☆☆